

うぐいすの声

通巻156号

2025

12



— 基本理念 —

私たちは、人道・公平・奉仕の赤十字精神に則り、
利用者の人権と福祉を守ることを第一に、
安心で安全な施設づくりを目指します。

Topics

医療と介護の講演会「終活」とは
寒い季節の保湿・加湿対策

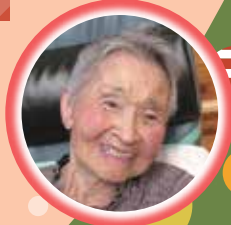


誕生者紹介コーナー

HAPPY BIRTHDAY

おめでとうございます。これからもお元気で(●^o^●)

10月
生まれ



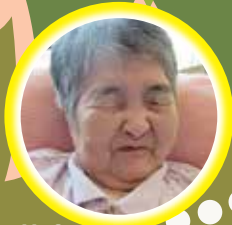
松原 リツさん
[昭和14年10月27日 86歳]



中原 サチ子さん
[昭和16年10月26日 84歳]



坂井 止子さん
[昭和4年11月13日 96歳]



藤本 ナヨさん
[昭和9年11月1日 91歳]



新里 幸子さん
[昭和11年11月25日 89歳]



小田 アヤさん
[昭和12年11月17日 88歳]



諏訪 キクエさん
[昭和13年11月6日 87歳]



横田 京子さん
[昭和15年11月3日 85歳]



平田 仁明さん
[昭和19年11月29日 81歳]

12月
生まれ



高橋 エサさん
[昭和2年12月20日 98歳]



栃内 京子さん
[昭和3年12月5日 97歳]



袖林 ヨノさん
[昭和8年12月7日 92歳]



米倉 マサさん
[昭和9年12月21日 91歳]



米澤 ノリさん
[昭和14年12月10日 86歳]



医 務

寒い季節の保湿・加湿対策

空気の乾燥は乾燥肌になりやすくなります。手洗いの後は、ハンドクリームで保湿、入浴時の石鹸量は、汗をかきやすい部分を中心に最小限に優しく洗います。入浴後は保湿剤を塗り、唇はリップクリームを縦横にしっかりと塗りましょう。のどや鼻の乾燥予防には、寝る前のマスク着用も効果的です。加湿器は室内

の湿度を60%目安に正しく使いましょ。



優しく洗う



ハンドクリーム
リップクリーム



加湿器

湿度60%を目安に



マスク着用

介 護

終活について

11月29日(土)当園にて医療と介護の講演会が開催されました。NPO法人いわてグリーンサポート 佐々木善規氏を講師に迎え「終活とは何か」を講演していただきました。終活と聞くとマイナスイメージが強いですが、余生にゆとりをもって、自分らしく過ごす準備を行うこと。元になうちに物事を整理することで安心感を持てる。とのお話でした。現代ではスマートフォン の普及により、パスワードやIDがわからず、亡くなつてから家族や親族が開くことができないという問題もあるそうです。メモをして保存して置くこと等の対策が必要だということも教えていただきました。今後最後まで

自分らしく生きていくために、皆さんも就活にチャレンジしてみたいかがでしょうか。



栄 養

11月19日(水)13時から計画停電をして、使用できなくなる設備・機器等の確認を行いました。14時から水消火器を用いた消火訓練と避難経路や防火扉等の操作方法の確認をしました。続いて夜間通報訓練を19時から電話連絡として全職員で行いました。当園の非常食の確保は3日分用意されており、賞味期限の兼ね合いから献立の食材としても使えるように備蓄しております。



相談部門

感染症流行期は施設の対応として、感染症対策で物理的な距離を保つこと、マスク着用の他、活動制限や面会制限の対応をさせて頂く場合があります。但し、日常生活において、コミュニケーションの機会が減ると孤立感や不安を感じる等の精神面への影響の他、脳への刺激が減り、認知機能の低下につながる場合もあります。その上で、入居者様の対応におきましては、マ

スク着用時でも笑顔や驚いた表情、身振り手振りなどの非言語的コミュニケーションを意識することや、聞き取りやすい声の大きさ、スピード等に配慮しながら話すよう全職員が努めて参りたいと思います。



デイサービス だより



ショートステイだより



居宅介護支援 事業所だより

地域の皆さんには日頃から大変お世話になっております。
寒くなってきた今日この頃、心温まるエピソードがあったのでご紹介したいと思います。
個室タイプのショートステイを2泊3日で利用されたご利用者のお話です。

「隣の部屋の人が夜に少し大きい声を出していた。眠れなくて何時か時計を見ようとした。明かりがなかったのでテレビを点けたらテレビの音が高くて、職員が来て」どうしました？眠れないですか？と優しく声をかけてくれた。その職員の声掛けで嫌な気持ちも治まった。次の日も「昨日は眠れましたか？」と声掛けしてくれた。その他に、おむつ交換をしながら世間話を面白おかしくしてくれたり、食事の時も他の利用者によく声をかける様子があった。本当にありがたかった。」と利用中の様子を話されました。
日頃、業務に追われる様子の中に、介護職員の行き届いた気配りや心配りの素晴らしさを知ることができました。（この内容は利用者様より了解を得て載せています。）
寒い季節ですが、この話を聞いたら心がとても温かくなりました。

ご協力ありがとうございました (ボランティア及び寄付等)

- 栗石町赤十字奉仕団 様
- 高橋 美智子 様
- 栗石中学校2学年 様



編集後記

いつも広報誌を読んでもいただきありがとうございます。今年も医療と介護の講演会を無事に開催することができました。皆さんは「終活」という言葉を聞いたことがありますか？「終活」って…と思うかもしれませんが、残された人への感謝の気持ちを伝える事や自分が安心して暮らせるための手立てにもなると思います。これを機会に「終活」について考えてみませんか？そして講演会に参加して下さった方々へこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

通信欄

特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘

うぐいすの声 第156号 2025.12

〒020-0573 栗石町南畑第32地割15-30
TEL 019-695-2473 FAX 019-695-2576
E-mail oumeisou@oumeisou.jrc.or.jp
ホームページURL <http://www.oumeisou.jrc.or.jp>

日赤鶯鳴荘

検索

